

# 担当上司招き企画プレゼン

## 7社、11人の女性社員が参加

人材育成委員会が主催する今年度第3回の「女性活躍推進フォーラム in九州」が12月13日、福岡市の遊技会館で開かれ、日遊協会企業7社から女性社員11人が参加した。3グループが1年間かけて練った企画を参加者の上司の前で発表した。

### 優勝はBチーム

#### 「パチンコ業界の環境改善」

フォーラムでは複数の企業で教育研修を行っている桑野麻衣氏が



優勝し賞品目録を受け取るBチーム

「価値観の違う人との接し方」をテーマに講演した。桑野氏は、人が大切にしている価値観を「愛」「正義」「自由」「安定」「学習」「貢献」という6つに分類し、例えば「遅刻してきたスタッフに対して思う



プレゼンを傍聴した上司や社長からは厳しくも温かい指摘があった

こと」というシチュエーションに対して、どのような価値観を重視しているかによって受け止め方は違うことを説明。ネガティブなことでもポジティブな言葉に置き換えることができることとし、

人材育成や部下の指導においても思考の枠組みを一旦外して異なる価値観を受け止め、違いを楽しみながらお互いプラスとなるよう取り組むことが必要だと話した。



(上、円内) 講師を務めた桑野麻衣氏  
(下) ネガティブな言葉をポジティブに変える参加者たち

3グループによるプレゼンテーションは、離職を防ぐために柔軟な働き方の採用を提案する「選択制勤務の導入」(Aチーム)、身だしなみ改善や休暇日数を増やすなど労働環境改革チームを結成しスタッフの声をすくい上げて改革を行う「パチンコ業界の環境改善」(Bチ

ーム)、キャリアアトランプというカードゲームを使って自己分析による目標の明確化をはかり離職率の低下を目指す「只今社員活性化中」(Cチーム)というもので、傍聴した関係者が選ぶ優勝企画にはBチームが選ばれた。

フォーラムの後には懇親会も開催され、参加者はざくばらんな雰囲気なかで情報交換をおこなった。